

自己評価結果公表シート（令和2年度）

1、本園の教育目標及び教育方針

『一人ひとりを大切に考え、様々な体験の中から「可能性」を引き出し、「心」を育む教育』をモットーに自由で伸び伸びとした個性ある子どもに育つよう、子ども達も先生達も楽しみながら日々活動しています。また、当園は『遊んで学ぶ』を教育方針として、遊びから子ども達の可能性を広げていく教育を行っている。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

本年度は、新型コロナウイルス感染症等と共存していく中で、通常保育や園行事の内容変更を行い、職員同士で案を出し合っって工夫をして、保育に制限があるコロナ禍でも感染リスクを考慮しながら、出来る限り園児に様々な体験・経験をさせてあげられるように努める。また、園関係者に感染者が出ても、濃厚接触者の特定を速やかに行えるように園児及び職員との関わりを出来る限り記録に付ける。

3、評価項目の達成及び取組状況ならびに今後の課題

基本的な生活習慣を正しく身に付ける	基本的な「挨拶」や「お礼」など言葉だけでなく、朝食を食べる、早寝早起きをする、といった生活面においても正しい習慣を身に付けられるよう、子ども達に促した。今後は、保護者にも伝え、家庭でも習慣づけていくように協力を促す。	達成度 B
安全の保育を行うための感染症に対する取組み	感染症の脅威から園児を守るため、手洗い、うがい、アルコール等をこまめに行う。また、感染症マニュアルを作成後、今後の感染症の状況に適応できるように、随時マニュアルの変更を行う。	A
未就園児の子育て支援について	コロナ禍でも感染症対策を考え、園庭開放や未就園児教室を出来る限り行った。今後も、感染症のリスクを考慮しながら出来るだけ行えるよう案を考えていく。	B
職員の質の向上	職員の電話対応、保護者対応、緊急時の行動について話し合い、それらを実践して意識を高めた。今後も、研修を積極的に行い知識・スキルの向上に努める。	B

4、学校関係者の評価

保護者会において評価委員会を作り、概ね良しと判断されました。

5、財務状況 公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。